

講演タイトル

ホヤ胚における形づくりの仕組みの理解へ向けて

Towards the understanding of molecular and cellular mechanisms of tissue shaping in ascidian embryos

講演者

熊野 岳（東北大・院生命・浅虫）

Gaku Kumano

講演要旨

これまでのホヤ胚を用いた研究では、発生運命決定機構の解析等により、ホヤ胚に特徴的であり、また動物胚全般の基盤となりうるような仕組みを次々と明らかにしてきており、海産無脊椎動物を用いた発生学を牽引してきたといえる。海産無脊椎動物には、あらゆる生物学の分野における重要かつ興味深い現象が数多く秘められており、ホヤでは特にこれまでの胚発生学の分野での多くの知見を基盤とした今後の方向性として、変態後の発生の研究や、ホヤの系統的な位置を考慮した進化発生学的な研究、形づくりの仕組みを解明するような研究等の重要性が益々増してくると考えられる。私はそのなかでホヤ胚の尾のでき方に着目し、尾の形成の初期段階である胴部と尾部の境界である「くびれ」の形成がどのように起こるのか、その仕組みを理解する研究を始めた。本発表では、「くびれ」形成を支えるホヤ胚に特徴的な仕組みと動物胚全般に基盤的だと考えられる仕組みの両側面についてご紹介したい。